

広島商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	練習船実習	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科 (機関コース)			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	実習ノート(サリーポート) 、指示された教科書及び辞書						
担当教員	大内 一弘,茶園 敏文						
到達目標							
(1)航海当直, 機関当直を通して船員としての基本を身につける。 (2)機関室内補機の取扱等を理解し作動できる。 (3)自ら (グループ) 主機関を始動できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	航海当直, 機関当直を通して船員としての基本を身につけ指導できる。			航海当直, 機関当直を通して船員としての基本を身につける。		自ら (グループ) 主機関を始動できる。	
評価項目2	機関室内補機の取扱等を理解し手順良く作動できる。			機関室内補機の取扱等を理解し作動できる。		機関室内補機の取扱等を理解し作動できない。	
評価項目3	自ら (グループ) 主機関を手順良く始動できる。			自ら (グループ) 主機関を始動できる。		自ら (グループ) 主機関を始動できる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	校内練習船「広島丸」で泊を伴う実習を行い専門的知識・技術とその活用力の取得し, 第一種養成施設としての必要履修科目を満たす。						
授業の進め方・方法	船内において、座学による講義と機関室内にて実技で授業を行う。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	船舶用務		船内要務、航海実務、運航概要を理解する。		
		2週	当直実習		機関運転法、航海当直法、停泊当直法を理解する。		
		3週	運用実習		操船法、出入港法を理解する。		
		4週	航海実習		航海計器の取扱い、沿岸、天文、電波の各航法を理解する。		
		5週	機関管理		機器、装着性能検査、管理、点検、整備を理解する。		
		6週	保安応急法		保安応急部署及び応急運転を理解する。		
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	25	0	50	0	0	25	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	25	0	50	0	0	25	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0